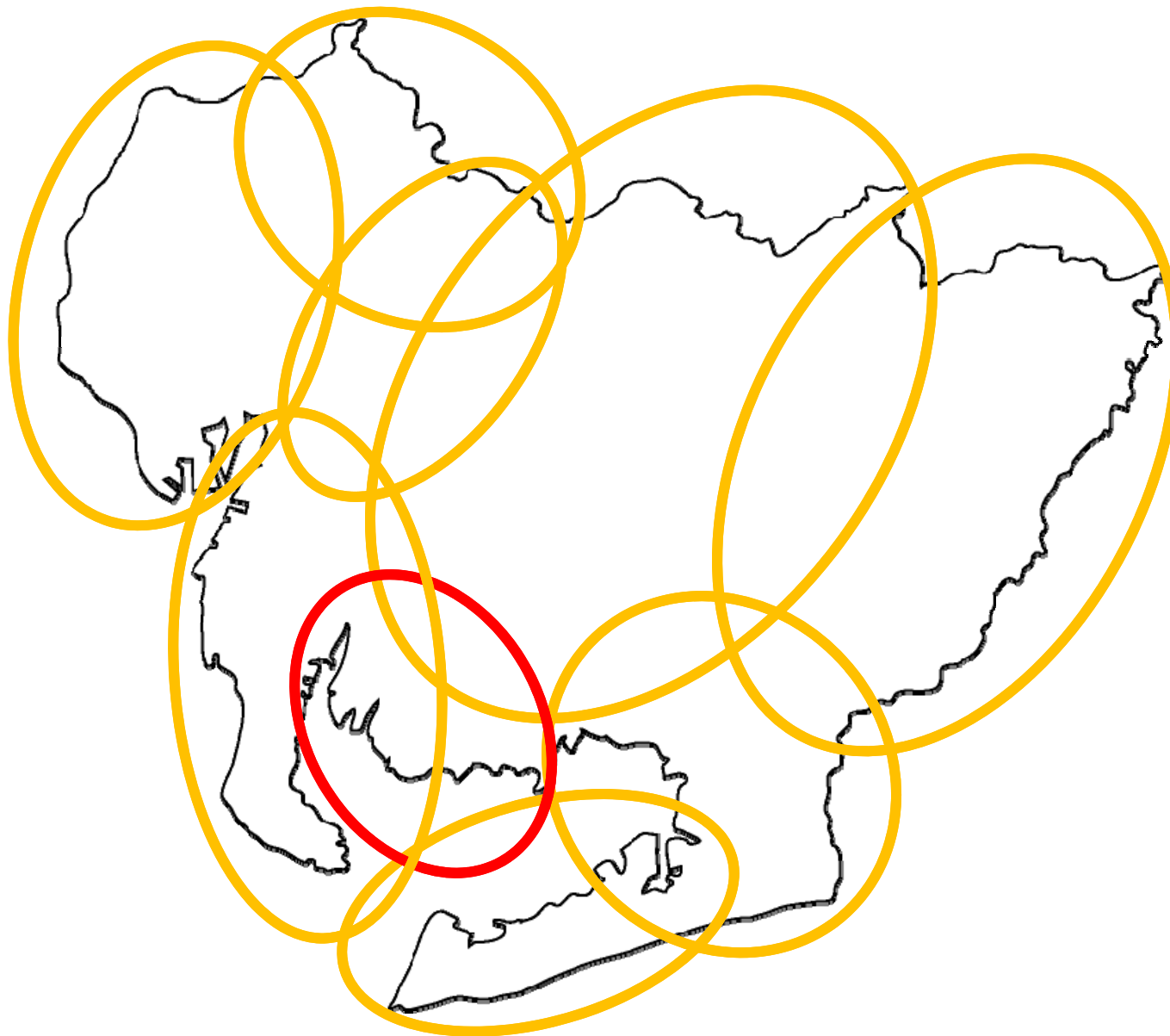


生態系ネットワーク協議会

生態系ネットワーク形成推進を目的に、県内を9地域に区分



生態系ネットワーク協議会

土地所有者
(県民, 事業者, 行政)



開発事業者
(事業者, 行政)

活動者
(NPO, 研究者)

西三河南部生態系ネットワーク協議会について

きらきら光る碧い海 ～西三河沿岸が育む生きものたちのつながり～

- 西三河南部地域（碧南市・西尾市・高浜市）にて、生きものの生息空間である生態系ネットワークの形成を推進することを目的に活動
- 設立：平成28年2月
- 会長：谷地 俊二（人間環境大学 環境科学部 准教授）
- 会員：26団体（令和4年4月現在）



人間環境大学、愛知学泉大学、西尾市立室場小学校
(NPO)愛知生物調査会、(NPO)フロンティア西尾、西三河自然観察会、
西三河野鳥の会、へきなん市民環境会議、渡し場かもめ会、
あいち中央農業協同組合、(株)あいや、(株)エムアイシーグループ、(株)オティックス、
(株)おとうふ工房いしかわ、山旺建設(株)、七福醸造(株)、トヨタ自動車(株)、
(株)豊田自動織機、日東醸造(株)、
東幡豆漁業協同組合、西三河漁業協同組合
衣崎漁業協同組合、碧南市、西尾市、高浜市、愛知県
(教育機関3、企業9、NPO等6、農林漁業団体4、行政4)

今年度の活動紹介①

オオキンケイギク駆除活動 & 探鳥会 (5/22 (日) 実施)

場所

- オオキンケイギク駆除：碧南市と西尾市河川敷
- 探鳥会：一色町竹生新田

主な参加者

- 碧南高校の高校生
- 人間環境大学の大学生
- へきなん市民環境会議

参加者数

碧南側：29名 / 西尾側：9名

碧南側(碧南市前浜町付近)



碧南側(碧南市前浜町付近)



西尾側（上塚橋近く矢作川西尾緑地）



西尾側（上塚橋近く矢作川西尾緑地）



探鳥会（一色町竹生新田周辺）



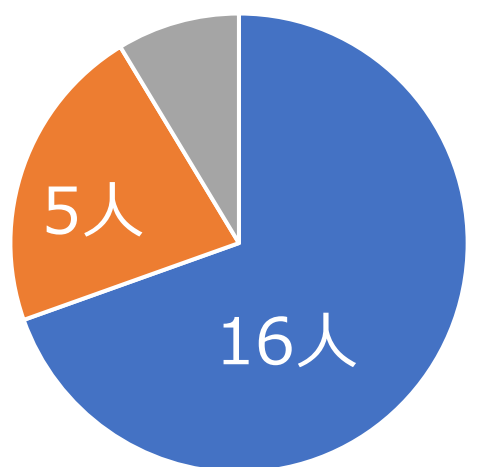
探鳥会（一色町竹生新田周辺）



〈セイタカシギ〉

参加者の声（抜粋）

- 作業がハードであり、まとまった人手が必要と感じた。
- 駆除活動を実際に行うことで繁殖力の高さや駆除の難しさを知ることができた。
- 一般の方は、綺麗な黄色の花という印象しかなく、外来生物の危険性等を把握していないと思う。



■ 大変深まった ■ 少し深まった ■ あまり

保全への理解



■ 参加したい ■ したくない

今後の参加

回答数23人

今年度の活動紹介②

愛知こどもの国いきものふれあい観察会 (7/31(日)実施)

場所：こどもの国園内の白鳥池

講師：矢部 隆氏 元愛知学泉大学教授

観察した生物 (生物多様性モニタリング調査)

- トノサマガエル
- カワヨシノボリ
- ニホンイシガメ
- ヒガシニホントカゲ
- サワガニ
- タイコウチ
- モクズガニ
- モツゴ

捕獲した生物

- ウシガエル

参加者数：約20名

観察会の様子



観察会の様子



講師（矢部氏）による解説

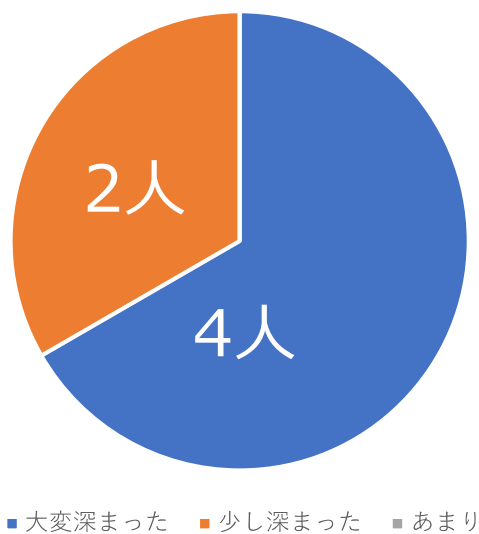


地元紙（愛三時報）での掲載

非公開情報が含まれているため、一部内容を控えさせていただきます。

参加者の声（抜粋）

- 小さな池に様々な生物がいることを知り、環境の保全の大切さを実感できた。
- この池には外来種が殆どいなかった。
- 生態系を維持するのはとても大切だと感じた。
- イシガメを飼育しており、色々教えて頂き勉強になった。
- トノサマガエルなど、子供の頃以来、久々に触った。



保全への理解



回答数6人

今後の参加

今年度の活動紹介③

一色干潟観察会 (8/11 (木・祝) 実施)

場所：ころもざき潮干狩り場 (干潟)

講師：増田元保氏 碧南海浜水族館

観察した生物 (生物多様性モニタリング調査)

- ギンヤンマ
- カルガモ
- カワウ
- ダイサギ
- アカエイ
- オサガニ
- スナモグリ
- フナムシ

参加者数：約20名 (小学生児童及びその保護者)

観察会の様子



観察会の様子

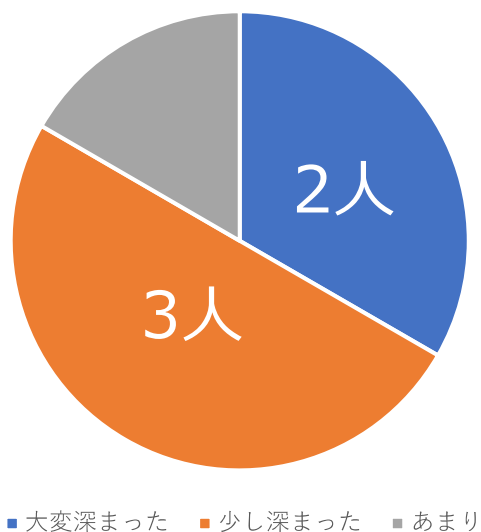


講師（増田氏）による生きものの解説

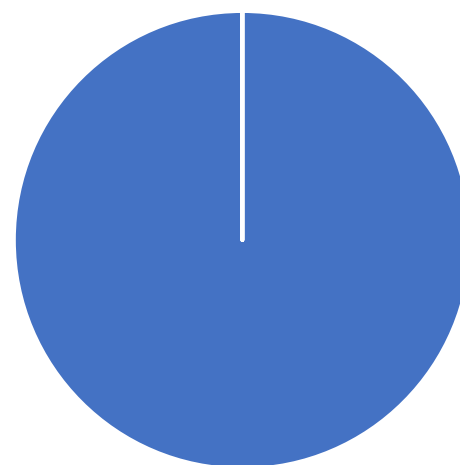


参加者の声（抜粋）

- 干潟にたくさん生きものがいることに驚いた。
- 普段なかなか子どもたちに見せることができないため、貴重な体験ができて良かった。
- 普段できない経験（海の生きものに触れる機会がない）で、教えてくれる人もいてとてもよかった。
- 生態系や環境問題の説明を聞いたかった。



保全への理解



回答数6人

今後の参加

今年度の活動紹介④

秋のいきもの観察会 (10/16 (日) 実施)

場所：愛知こどもの国

講師：久松定智氏 人間環境大学講師

観察した生物 (生物多様性モニタリング調査)

- 生物名を入れてください

参加者数：16名

観察会の様子



観察会の様子



講師（久松氏）による生きものの解説

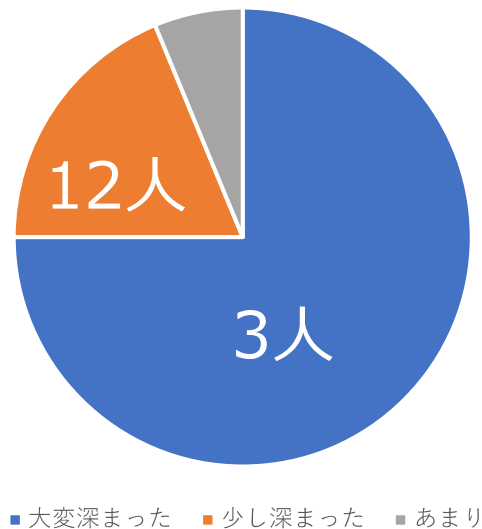


観察会の様子

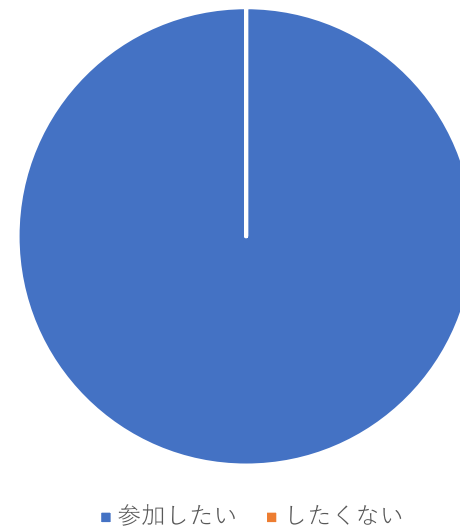


参加者の声（抜粋）

- 虫が住む緑を守る必要があると、観察を通して理解した。
- 子どもと参加したが、とても楽しそうにしていた。
- 昆虫の名前を先生に教えてもらうなど、知識を得た。
- 初めてアサギマダラを見た。
- 長距離を旅することを知り、虫に興味を持つことができた。



保全への理解



今後の参加

回答数16人

参加スタッフ（学生）の育成

参加校

- 中部大学
- 名古屋商科大学
- 人間環境大学
- 名城大学など

SDGs AICHI EXPO 2022での報告

